長崎県版SDGsカードゲーム　－説明書―

○はじめに

　SDGsとは

　　SDGs（エスディージーズ）は、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年に国連サミットで採択された２０３０年までの国際目標です。

「誰ひとり取り残さない」持続可能な社会の実現を目指し、貧困や教育、ジェンダー平等、気候変動など１７の目標と１６９のターゲットで構成され、発展途上国と先進国が一丸となって目標達成に向けて取り組むことが望まれています。

○ゲームの概要・目的

　　SDGsで掲げられた目標を達成するために解決するべき世界的な課題は、私たちの身近に存在する様々な地域課題が複雑に積み重なったものです。

　　つまり、SDGsは国際目標ですが、その目標を達成するためには、地域課題を解決することが重要となります。

そこで、長崎県の課題を把握し、その解決策を考えてもらいながら、長崎県という地域の課題の解決がSDGsの実現につながることを意識してもらうため、長崎県版SDGsカードゲームを作成しました。

推奨対象年齢　１０歳以上

推奨対象人数　２名～

プレイ時間　　約１５分

○入っているもの

　カード１００枚（人物カード１０枚／統計カード３０枚／アイテムカード６０枚）

　**・人物カード（全１０枚）**

　　　…長崎県内に暮らしている人物が記載されています。

　**・統計カード（全３０枚）**

　　　…長崎県や全国の統計データが記載されています。

**・アイテムカード（全６０枚）**

　　…長崎県にある様々なモノやコトなどのアイテムが記載されています。

〇ゲームの前に

◎各グループに下記の枚数のカードが最低限必要となります。

人物カード　１枚　／　統計カード　１枚　／　アイテムカード　２枚

※長崎県版SDGsカードゲームワークシートをご活用ください。（使用例有）

※１セットのカードで**最大１０グループ**までプレイすることができます。

　また、人物カードを全グループ共通とすれば、最大３０グループまでできます。

配布された４枚のカードのうち、人物カードは必ず使います。

人物カード以外に使うカードの枚数は、統計カード１枚とアイテムカード２枚の計３枚のうち、参加者（の習熟度等）に応じて決めます。

・初めての方・・・・人物カード以外のカード３枚のうち１枚を使う

・慣れてきた方・・・人物カード以外のカード３枚のうち２枚を使う

・上級者の方・・・・人物カード以外のカード３枚を全て使う

○ゲームの流れ（あくまで例示ですので人数などに応じて変更してください）

☆ 数名のグループを作ってください。

（３～４名がプレイしやすいですが、２名や５名以上でもプレイできます。）

1. 各グループにカードを配布してください。

人物カード、統計カード、アイテムカード　（習熟度に応じて）

1. 参加者は、１人ずつ、配布されたカードを使って、人物カードに書かれた人物が、今どのようなことに困っているか、今後どのようなことに困るかもしれないか想像します（**課題を考える**）
2. 参加者は②で考えた、人物カードに書かれた人物が、今困っていること、今後困るかもしれないことについて、グループ内で発表します。そのとき、他の参加者は他にも想定される課題など「もっとこんなことに困っているかもしれない」と提案します。（**課題の共有**）
3. 発表が終了したら、グループ内で人物カードに書かれた人物が一番困っていると思われること（課題）をグループの中から１つ選びます。
4. 選んだ課題に対して、人物カードに書かれた人物が、困っている状況になった原因（今後困っている状況になるかもしれない原因）について、グループで話し合います。
5. ⑤で考えた原因を基に、人物カードに書かれた人物が困っている状況（今後困るかもしれない状況）に対して、解決策をグループで話し合います。

～⑦から⑧は上級者編～

1. ⑥で考えた解決策がSDGsの３つの側面「経済・社会・環境」を全て満たしているかを確認します。
2. ３つの側面のうち、満たしていないものがあれば、どのようなアイテムや仕組があれば、３つの側面を満たすことができる解決策となるか、解決策を練り直します
3. 解決策がまとまったら、その解決策がどのSDGsの１７のゴールにつながるのかを確認します。

○解決策を考えるときに気をつけてほしいこと（SDGsのポイント）

　・トレードオフの解消

　　　…トレードオフとは、何かを達成するために、ほかの何かを犠牲にしなければならない状況や関係を指す言葉です。

　　　　社会では一つの課題を解決したら、別の課題が生まれてしまうということが起こりますが、誰一人取り残さない持続可能な社会を目指すためには、トレードオフとならないような解決策を考えましょう。

　・三側面（経済・社会・環境）のバランス

　　　…トレードオフを解消して、「経済」「社会」「環境」の三側面がバランスよく成長できる解決策を考えましょう。

　・バックキャスティングの視点

　　　…バックキャスティングとは、「未来のあるべき姿」を描き、その姿を実現するためには、今何を行うべきか、未来に向けてどう進んでいくべきかを考えることです。

SDGsの目標である2030年の「地球や地域のあるべき姿」を描き、未来に向けた取り組みを考えましょう。

○長崎県版SDGsカードゲーム使用にあたっての注意事項

　・下記の用途で使用することは禁止します。

1. 法令及び公序良俗に反するものに使用すること。
2. 特定の政治、思想、宗教等の活動に使用すること。
3. 営利目的で使用すること。
4. 長崎県のイメージや品位をおとしめるおそれのあること等に使用すること。
5. その他、県が不適当と認めることに使用すること。

　上記の用途で使用したことが判明した場合、当該使用者に対し、ただちに当カードゲームの使

用を禁じます。

・当カードゲームを使用したことにより、県に損害を与えた場合、県はその賠償を請求する場合があります。

・当カードゲームを使用したことに伴い発生した損害賠償、損失補填、その他法律上の一切の

責任を、県は負いません。

　・当カードゲームの著作権等一切の権利は、長崎県に帰属します。